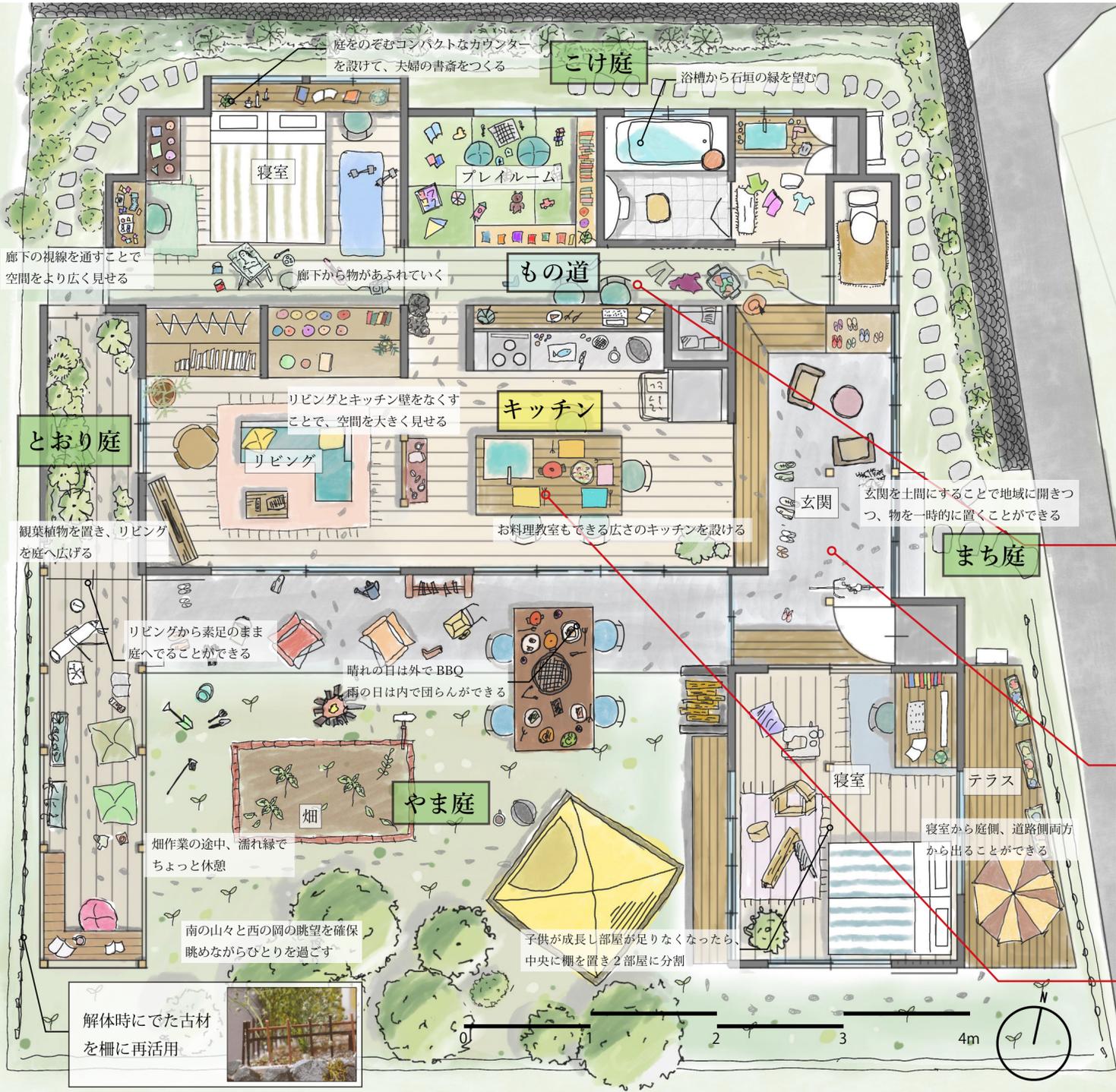


# モノと庭の家

一めぐる土間、ひらくキッチン

私たちは、暮らし手の生活を想定し「もの」と「にわ」に着目し設計を行った。物と庭が、生活の一部となり空間を作り出している。



### ①地域との調和

東側に位置する玄関部分は建具をひらくことで大きく空間を開ける事が可能となっており、近隣の人々との交流の場としても利用する事ができる。

### ②家族のいえ

家族のプライベートのために個室を2部屋確保。キッチンから北庭を望む窓辺には、コンパクトなスタディスペースを配置し、子供が宿題をする姿を見守ることができる。

### ③既存のなごり

豊かな自然を望む四方の庭を最大限活かし、「4つの庭」として家の各所から捉えることができる。また、庭庭を楽しむために渡縁側や土間の塗り直しを行った。

## 4つの庭

- 西：とおり庭**  
リビングと庭をゆるやかにつなぐ
- 南：やま庭**  
遠景の山々を眺める
- 東：まち庭**  
地域にひらく玄関
- 北：こけ庭**  
じっくり庭を味わう



### ものみち

南北の生活空間を結ぶものみちは、道具や日用品が自然と置かれ、暮らしの気配が立ち現れる空間となる。天井にはトップライトを設け、北側からの優しい光が降り注ぎ、収納空間に明るさと心地良さをもたらす。



### 土間

玄関から南庭までを繋ぐ土間は、内外をゆるやかに結び、生活の動線の中で住人の動きを受け止める空間となる。昔ながらの土間の役割を再解釈し、生活の軸とした。



### キッチン

家の中央に設けたキッチンは、調理や食事の場としてだけでなく、家族やご近所さんが集う交流の場となっていく。人を迎え入れる住まいの顔となる空間として設計した。

